

# 題材名 「テストの取組をアップデート！」 （第2学年 学級活動（3））

## ■ 本事例のポイント

1. 学習時間だけの学習計画から、学習方法や手段の要素を加え、主体的に学習計画を立てられるようにした。
2. それぞれが考えた学習計画を子供同士が交流する場を設定し、学習調整をした上で意思決定を促した。

## ■ 本時の目標

- ・これまで使ってきた学習計画表の取組を振り返り、自分自身の学習方法や環境の課題を見いだすとともに、その課題を基に、他者の学習方法などを参考にしながら新たに「マイ計画表」※を作成する。

## ■ 指導計画（3時間）

### 事前指導（1時間）

- ① 中間テストに向けて、これまでの学習計画表を使って学習に取り組む。
- ② 適宜、学習計画表を提出し、取組状況を把握・確認する。
- ③ テスト終了後、自分の取組を振り返る。

### 本時の指導（1時間）

#### 「テストの取組をアップデート！」

- ・中間テストの取組を振り返り、自分の学習方法の課題を見つめ、友達と対話を通して、自分に合った学習方法を考えながら、「マイ計画表」を作成する。

### 事後指導（1時間）

- ・「マイ計画表」から、テストの取組を振り返り、自分の学習方法は効果的に作用したかを省みて、主体的に計画表の改善を行う。

## ■ 本時の概要

### 「テストの取組をアップデート！」

- ・中間テストに向けた取組の満足度アンケートの結果を確認する。
- ・結果から自分の取組に納得できていない子供が多いことを確認する。
- ・教師が取組の新しいツールとして「マイ計画表」の作成を提案する。
- ・「マイ計画表」を作成する上での視点や方法について説明を聞く。
- ・自分で考えたり、友達と対話をしたりして自分に合った学習時間や学習方法などの項目を考えながら、「マイ計画表」を作成する。
- ・友達と交流し、期末テストに向けて自分の学習計画を決定する。

※「マイ計画表」……「学習場所」「時間帯」「学習形態」「ツール」「スタイル」「学習時間」「ごほうび」から自分が学習を効果的に進められる項目を3つ決め、自分に合うやり方を考えて実行できるよう、指導者が開発した定期テストに向けた学習計画表

期末テスト 「My計画表」 塾通い・数学苦手					
日付	教科	A学習方法	B学習場所	E学習ツール	D学習の形態
2025/11/12	社会 国語 英語	①教科書P222～223「中部地方」 ②ワーク本誌P42、43 ③プリント2枚	B学習場所 部屋で	F学習スタイル 音楽を聴きながら	G学習時間 30分～1時間
		①赤猫 漢字練習 ②英単語練習	リビング	ワーク	1人で
2025/11/13	数学	①塾のワーク（塾の1時間目）	塾	ワーク	2～3人で

## ■ 学習調整をしている子供の姿



「マイ計画表」を活用して自分の学習計画をより効果的に実行できる方法を考えてみよう！



自分なりにがんばってみたけど、学習時間が全体的に足りなかったのかな・・・。



図書館で勉強した方が、集中できていたから、図書館で学習する時間を増やしてみよう。



私は「学習時間」を重視した計画を考えていたけど、〇〇さんはノートにまとめる「学習スタイル」が一番大切にしているんだね。参考になるな・・・。



Point!

いろいろな学び方があるんだな。まずは自分で決めた方法でやってみよう。

〇〇さんが考えていた図書館で集中して学ぶ方法を試してみよう。自分に合っているかも！



## ■ 指導と評価の工夫

### ① 中間テストの取組での達成度や満足度についてアンケートを取り、クラス全体の結果をグラフで表示して共有する。

- \* 教師にとっては、子供の実態を把握し、後に提案する「マイ計画表」の意義を分かりやすく伝え、提案することができる。
- \* 子供にとっては、他の子供のテストに対する実態や取組の意欲を知ることができる。

### ② 「マイ計画表」のルールを共有した上で作成する。（「学習場所」「時間帯」「学習形態」「ツール」「スタイル」「学習時間」「ごほうび」から自分が学習を効果的に進められる項目を3つ決め、自分に合うやり方を考えて実行する。）

- \* 子供にとっては、自分の学習の方法を見つめ直し、より効果的な方法を具体的にイメージすることができる。

### ③ 自分で選んだ項目や優先順位を他の友達と交流した上で、最終的な学習計画について意思決定する。

- \* 子供にとっては、友達がどのような方法を大事にして学習を行っているかを知ること、意思決定の参考にすることができる。

## ■ 成果（○）と課題（▲）

○これまで子供たちは、学習時間のみを重視した学習計画を行ってきたが、新たな学習方法の視点を得た上で、自分に合った学習方法を考え、意思決定することができた。

▲子供がどのような考えで「マイ計画表」を作成したのかについて全体で共有する機会を創出できるとよかった。